| 教科名 | Dignity | 科　目　名 | Dignity |
|---|---|---|---|
| 対象学年 | 中学１年 | コース・選択 | ――― |
| 単位数 | ２単位 | 教　科　書<br>（出版社） | 課題研究メソッドStart Book（啓林館）<br>言葉のワークブック ２<br>（つくば言語技術研究所） |
| 学習目的 | 言語スキルの基礎を養う。また問いをたてる習慣を身につける。 | | |
| 学習の基本項目 | ①主体的・協働的な学びに安心して向かうことができる学習集団を形成する。<br>②生活や学習を通して感じた疑問から「問い」をたてる習慣を身につける。<br>③パラグラフライティングの基礎を習得する。<br>④言語スキルを磨くことで、物事の考え方や表現の仕方の基本を身につける。 | | |

| 学習内容と流れ | 学期・月等 | 単　　元 | |
|---|---|---|---|
| | 1学期 | 言語スキル | ・対話スキルの向上を図り、自己理解と他者理解を深める。<br>・生活や学習を通して感じる疑問を大切にし、「問い」を書きだす習慣を身につける。<br>・『リフレクションカード』を通して、自由に意見を交換する楽しさを体験する。<br>・『問答ゲーム』を通して、自分の意見に根拠を添える習慣を身につける。<br>・パラグラフライティングの基礎を身につける。 |
| | 2学期 | 言語スキル | ・『説明』を通して情報整理力を習得し､伝達の型を身につける。<br>・『再話』・『物語』・『要約』を通して、文章の構造を意識する。<br>・パラグラフライティングの練習を重ねる。 |
| | 3学期 | 言語スキル | ・『絵の分析』『テクスト分析』を通して、コミュニケーション力を高めるとともに、観察力・即興力・批判的思考力を身につける。<br>・１年間の学びを振り返るとともに、自分の主張を論理的にまとめて発表する。 |

| | |
|---|---|
| 学習の留意点 | コミュニケーション力を向上させるとともに、自らの内にある疑問や意見を他者と共有し、解決を試みる。また、その結果を新たな「問い」の発見へとつなげられるようにする。 |
| 評価の観点 | ①問う力　②知る力　③読む力　④分析する力　⑤書く力　⑥伝える力　⑦対話する力<br>⑧貢献する力 |

| 教科名 | Dignity | 科　目　名 | Dignity |
|---|---|---|---|
| 対象学年 | 中学２年 | コース・選択 | ――― |
| 単位数 | １単位 | 教　科　書<br>（出版社） | 課題研究メソッドStart Book（啓林館）<br>言葉のワークブック ２<br>（つくば言語技術研究所） |
| 学習目的 | 言語スキルを鍛錬し、研究スキルの基礎を養う。また、探究につながるような問いをたてられるようにする。 | | |
| 学習の基本項目 | ①主体的・協働的な学びに積極的に向かうことができる学習集団を形成する。<br>②生活や学習を通して感じた疑問から「すぐに答えが見つからない問い」をたてられるようにする。<br>③言語スキルの更なる向上を目指す。<br>④他者と協力しながら、問題の解決方法を考察する。 | | |

| 学習内容と流れ | 学期・月等 | 単元 | |
|---|---|---|---|
| | 1学期 | 言語スキル | ・１年生で学習した言語スキルをベースに、更なる向上を図る。<br>・生活や学習を通して感じる疑問を大切にし、「すぐに答えが見つからない問い」をたてる。<br>・『レゴ®　シリアスプレイ®』を通して、お互いの主張を積極的に理解する姿勢を身につける。 |
| | 2学期 | 言語スキル<br>研究スキル | ・『新しい大学入試問題』を通して、コニュニケーション力・観察力・即興力・批判的思考力を深化させる。<br>・与えられた問いに対して仮説を立て、それを証明するためにはどのような資料・文献を用いて主張すればよいかを学ぶ。 |
| | 3学期 | 研究スキル | ・これまで学んだ言語スキルを用いて、問いに対する主張をまとめ、プレゼンテーションを行う。 |

| | |
|---|---|
| 学習の留意点 | コミュニケーション力を向上させるとともに、自らの内にある疑問や意見を他者と共有し、解決を試みる。また、その結果を新たな「問い」の発見へとつなげられるようにする。 |
| 評価の観点 | ①問う力　②知る力　③読む力　④分析する力　⑤書く力　⑥伝える力　⑦対話する力<br>⑧貢献する力 |

| 教科名 | Dignity | 科　目　名 | Dignity |
|---|---|---|---|
| 対象学年 | 中学３年 | コース・選択 | ――― |
| 単位数 | １単位 | 教　科　書<br>（出版社） | 課題研究メソッドStart Book（啓林館）<br>言葉のワークブック ２<br>（つくば言語技術研究所） |
| 使用教材 | レゴブロック | | |
| 学習のねらい | ・言語スキルのさらなる向上をめざす。<br>・研究スキルを身につけ、問いを立てる力を育成する。<br>・一連の研究活動を体験する。 | | |

| 学習内容と流れ | 学期・月等 | 単　　元 | ねらい | 留意点 |
|---|---|---|---|---|
| | １学期 | ・言語スキル<br>・研究スキル | ・『説明』を通して、１年次、２年次で学習した情報整理の方法・パラグラフ形式による表現方法を確認する。<br>・SDGsを含め各自の興味・関心に合わせて、問いづくりを行う。 | ・《すぐに答えの出ない問いづくり》をめざす。 |
| | ２学期 | ・研究スキル | ・夏休みの自由研究及び、SDGsの調査から、新たな問いづくりを行う。 | ・《すぐに答えの出ない問いづくり》をめざす。<br>・問いに対する仮説を立てることを見通した問いづくりを行う。 |
| | ３学期 | ・研究スキル<br>・プレゼンテーション | ・自ら立てた問いに対する自己の主張をまとめ、プレゼンテーションを行う。 | ・習得した言語スキルをプレゼンテーションに活用する。 |

| 学習の留意点・評価など | コミュニケーション力を向上させるとともに、自らの内にある疑問や意見を他者と共有し、解決を試みる。また、その結果を新たな「問い」の発見へとつなげられるようにする。<br>①問う力　②知る力　③読む力　④分析する力　⑤書く力　⑥伝える力<br>⑦対話する力　⑧貢献する力 |
|---|---|
| 備　考 | |

| 教科名 | Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～ | | |
|---|---|---|---|
| 対象学年 | 高校１年 | コース・選択 | ――― |
| 単位数 | １単位 | 教　科　書<br>（出版社） | ――― |
| 使用教材 | ワークシート各種 | | |
| 学習のねらい | SDGsの探究を通して、一連の研究方法を体験する。特に、問いを立てる力を育成することに重点を置く。 | | |
| 特に習得されるべきスキル | ・問いを設定する力<br>・調査をする力<br>・情報を分析する力<br>・問いにエビデンスを示して答える力<br>・討論する力 | | |

| 学習内容と流れ | 学期・月等 | 単　元 | 学習内容 | 科学的思考 | 表現 | 協働 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ４月 | オリエンテーション １ | 一年間の授業の予定、Dignityの目的、ルールを理解する。<br>安心安全の学習集団作りをする。 | | | ○ |
| | | School Vision | School Visionのステートメント"社会に開かれた わたしをつくるアトリエ"とイラストを読み取るワークショップを行う。 | ○ | ○ | ○ |
| | | LEGO® Serious Play® | 17Goalsが示す問題の１つを解決する道具をブロックで作る。作ったモデルを説明することで、意味づけすることの意義を体感する。 | ○ | ○ | ○ |
| | ５月 | ひとこと多い張り紙<br>（２コマ） | カードゲームを使って、17Goalsに関する張り紙（標語）をチームで創造する。 | | ○ | ○ |
| | ６月 | デザイン思考で探究スキルを磨く（４コマ） | 友達のペンケースのプロトタイプを創ることを通して、下記の探究スキルのトレーニングをする。<br>・情報を収集する。<br>・課題を設定する。<br>・プロトタイプを創る。（課題に対する解決策を提案する。）<br>・解決策を検証する。<br>・発表する。 | ○ | ○ | ○ |
| | ７月 | | | | | |
| | | 身近なSDG s | 各自が見つけた身近なSDGsを発表する。 | | ○ | |
| | ８月 | リサーチ：個人 | SDGsに関するキーワードや企業の活動について調べる。 | ○ | | |

| 学習内容と流れ | 学期・月等 | 単　元 | 学習内容 | 科学的思考 | 表現 | 協働 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 9月 | オリエンテーション 2 | 課題研究の意義や手順を知る。<br>問いからリサーチクエスチョンを導く方法を知る。<br>夏休みの個人リサーチの報告をする。 | ○ | ○ | |
| | | チーム編成 | チームを編成して、夏休みまでに各自が収集した情報を共有する。その上で、チームの研究テーマを考える。 | | ○ | ○ |
| | | リサーチ：チーム | 問いをたてる。<br>調査項目のリストを作る。 | ○ | | ○ |
| | 10月 | リサーチ：チーム | 調査項目に関する情報を収集する。 | ○ | | |
| | 11月 | リサーチ：チーム | リサーチクエスチョン・仮説を設定し、<br>リサーチの方法を考える。 | ○ | | ○ |
| | 12月 | リサーチ：チーム | 情報を収集して記録する。 | ○ | | |
| | 1月 | リサーチ：チーム | 収集した情報を分析する。 | ○ | | ○ |
| | 2月 | 研究成果のまとめ | 研究発表の準備をして発表する。 | ○ | ○ | ○ |
| | | 研究発表 | 1年2年合同Dignity研究発表会 | | ○ | ○ |
| | | リフレクション | 一年の活動をルーブリックを使って自己評価をする。 | ○ | | |
| 学習の留意点・評価など | 質問力をつけることで、思考力を伸ばすことを意識化させる。評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。 | | | | | |
| 備　考 | | | | | | |

| 教科名 | Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～ | | |
|---|---|---|---|
| 対象学年 | 高校２年 | コース・選択 | コースⅠ |
| 単位数 | ２単位 | 教　科　書<br>（出版社） | ――― |
| 使用教材 | ワークシート各種 | | |
| 学習のねらい | 自分の好きを科学者の視点から掘り下げリサーチクエスチョンを立てる。リサーチクエスチョンを探究することで、わたしが大学で学びたいことは何かを見出す。 | | |
| 特に習得されるべきスキル | ・自分の好きなことにを深掘りして、well-beingな社会をつくるためのリサーチクエスチョン（具体的な問い）を立てることができる。<br>・協働的な学びの価値に気づき、積極的に対話や質疑応答をすることができる。<br>・リフレクションの価値に気づき、体験した探究活動を振り返り言語化することができる。<br>・適切なデータを収集して分析し、事実に基づく理由を添えてリサーチクエスチョンに答えることができる。 | | |

学習内容と流れ

| 学期・月等 | 単　元 | 学習内容 | 科学的思考 | 表現 | 協働 |
|---|---|---|---|---|---|
| ４月 | オリエンテーション | 一年間の授業の予定、Dignityの目的、ルールを理解する。 | | | |
| | チームビルディング | 安心安全の学習集団作りをする。 | | | ○ |
| | LEGO® Serious Play® | 10年後のわたしをブロックで形にする。形にしたものを自分の言葉で表現することで、意味づけすることの意義を体感する。 | ○ | ○ | ○ |
| | リフレクションスキル | 意見・経験・感情・価値観からなる認知の４点セットを使って振り返る手法を体験する。 | ○ | ○ | |
| ５月<br>６月<br>７月 | 問いの種 | 問いの種を集める手法を学んだ上で、問いの種を収集する。収集した種を他者と共有して質疑応答する。 | ○ | ○ | ○ |
| | スモールプロジェクト | 「全ての生徒・先生が楽しめる学校行事をデザインする」などのプリジェクトを行う。金城学院大学生がファシリテーターとして参加する。 | ○ | ○ | ○ |
| ８月 | リサーチ | 関心のあるテーマに関する情報を収集する。 | ○ | | |
| ９月 | リサーチ<br>チュートリアル１ | リサーチクエスチョンを立てて、情報を収集する。<br>テーマごとにチュートリアルグループを編成する。<br>適切な情報を収集できるように大学生メンターから助言を受ける。(オンラインで実施) | ○ | ○ | |
| 10月 | リサーチ<br>キャリアを考える | リサーチクエスチョンをブラッシュアップする。<br>仮説とリサーチの方法を設定する。<br>金城学院大生から、キャリア形成をするためにどのような行動をしたか、今後どのような行動をする計画かなど、キャリアデザインに関する話を聴く。 | ○ | ○ | ○ |

| 学習内容と流れ | 学期・月等 | 単　元 | 学習内容 | 科学的思考 | 表現 | 協働 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 11月 | リサーチ<br>チュートリアル２,３<br>キャリアを考える | 情報を収集して記録する。<br>研究経過をメンターに報告し、助言を受ける。<br>金城学院大学職員からキャリアデザインに関する話を聴く。 | ○ | ○ | |
| | 12月 | リサーチ<br>中間発表 | 研究の中間発表をして、質疑応答する。 | ○ | ○ | ○ |
| | １月 | リサーチ<br>チュートリアル４ | 収集した情報を分析する。<br>分析結果について大学生メンターから助言を受ける。 | ○ | ○ | |
| | ２月 | 研究成果のまとめ<br>チュートリアル ５ | １年間の研究成果の発表に向けて準備をする。<br>発表に向けてメンターから助言を受ける。 | ○ | ○ | |
| | | 研究発表 | コースⅠ合同研究発表会<br>１年２年合同Dignity研究発表会 | | ○ | ○ |
| | | リフレクション | １ 年間の活動をルーブリックを使って自己評価をする。 | ○ | | |
| 学習の留意点・評価など | “自分の好き”を深掘りして、科学者の視点から問いを立てて探究することの意義を体感させる。評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。 | | | | | |
| 備　考 | | | | | | |

Dignity

| 教科名 | Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～ | | |
|---|---|---|---|
| 対象学年 | 高校２年 | コース・選択 | コースⅡ・Ⅲ |
| 単位数 | １単位 | 教　科　書<br>（出版社） | ――― |
| 使用教材 | ワークシート各種 | | |
| 学習のねらい | １年生で習得したスキルを活用して研究を行なう。研究を通して、研究法を学ぶとともに、問いを見いだす力や論理力・分析力・批判的思考力を養う。 | | |
| 特に習得されるべきスキル | ・自分の好きをみつけることができる。<br>・well-beingな社会をつくるためのリサーチクエスチョン（具体的な問い）を立てることができる。<br>・協働的な学びの価値に気づき、積極的に対話や質疑応答をすることができる。<br>・リフレクションの価値に気づき、体験した探究活動を振り返り言語化することができる。<br>・適切なデータを収集して分析し、事実に基づく理由を添えてリサーチクエスチョンに答えることができる。 | | |

| 学習内容と流れ | 学期・月等 | 単　元 | 学習内容 | 科学的思考 | 表現 | 協働 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | １学期<br>４月<br>５月 | オリエンテーション<br>基礎リサーチ | ・興味のある分野から自分の興味のあるキーワードを見つけて「わたしの好き」を知る。<br>・それぞれの「わたしの好き」を共有する。 | ○ | ○ | ○ |
| | ６月 | | ＜グループ研究に向けて＞<br>（コースⅡ）<br>・考察の練習<br>・テキストマイニングの手法を学ぶ<br>（コースⅢ）<br>・実験／調査のリテラシーを学ぶ<br>・データの分析／考察の練習 | ○ | ○ | ○ |
| | ７月 | | ・グループ研究テーマ決め<br>・先行研究調査 | ○ | ○ | ○ |
| | ８月 | 夏休み | ・先行研究調査 | ○ | ○ | |
| | ２学期<br>９月 | リサーチ | ・グループ編成<br>・研究分野決め<br>・研究計画作成 | ○ | ○ | ○ |
| | 10月 | | ・研究計画作成<br>・中間発表 | ○ | ○ | ○ |
| | 11月<br>12月 | | ・調査、分析、考察 | ○ | ○ | ○ |
| | ３学期<br>１月 | | ・発表のための準備<br>・クラス内研究発表会 | ○ | ○ | ○ |
| | ２月 | 小論文 | ・卒業小論文のための時間 | ○ | ○ | |
| | ３月 | | ・１年の振り返り | | ○ | |

| 学習の留意点・評価など | ・教科学習で習得した知識を活かして、研究に取り組むように導く。<br>・ここで行うリサーチが次年度取り組む卒業小論文につながることが望ましい旨を事前に周知する。<br>・評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。 |
|---|---|

| 教科名 | Dignity 「生き方を探る」～社会に参画し主体的に生きるために～ | | |
|---|---|---|---|
| 対象学年 | 高校 3 年 | コース・選択 | ――― |
| 単位数 | 1 単位 | 教　科　書<br>（出版社） | ――― |
| 使用教材 | ワークシート各種 | | |
| 学習のねらい | 1年生と2年生のグループ活動で習得した研究スキルを活用し、個々に研究に取り組む。研究を通して、問いを見いだす力や論理力・分析力・批判的思考力を養う。 | | |
| 特に習得されるべきスキル | ・発想力<br>・問いを設定する力<br>・わかりやすく理由や根拠を添えながら筋道を立てて意見を述べる力<br>・批判的に資料を読み、判断する力<br>・討論する力 | | |

| 学習内容と流れ | 学期・月等 | 単　元 | 学習内容 | 科学的思考 | 表現 | 協働 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 4月 | オリエンテーションと<br>リサーチクエスチョンの検討 | 1年間の授業の予定を説明する。<br>小論文の書式や下書き、本稿の提出期限等を確認する。<br>自分の立てたリサーチクエスチョンの妥当性を検討する。 | | ○ | ○ |
| | | 小論文の構成<br>仮説の設定 | 小論文の構成を確認する。<br>仮説を立て、リサーチクエスチョンに答えるために収集すべき情報のリストをつくる。研究の方法を書く。<br>データを集め、情報カードに記録する。 | ○ | ○ | |
| | | 接続詞の使い方 | 論文でよく使われる5種類の接続詞（逆説・並列・例示・言い換え・まとめ）の使い方を確認する。 | ○ | ○ | |
| | 5月 | パラグラフ・ライティング | パラグラフ・ライティングを練習する。 | | ○ | |
| | | 引用の方法 | 引用文の書き方を学ぶ。自分で作った情報カードを使って引用文の書き方を練習する。<br>データを集め、情報カードに記録する。 | ○ | ○ | |
| | | 志望理由書 | 希望する学部学科の志望理由書を書き、大学で何を学びたいのか、その理由は何かを明確にする。これによって主体的な進路選択につなげる。 | | ○ | |
| | 6・7月 | 下書き | 小論文の下書きを書く。 | | ○ | |
| | 8月 | 本稿 | 本稿を書きあげる。 | | ○ | |
| | 9月 | 進路を考える | コースⅠは志望理由書を書く。<br>コースⅡⅢは進路指導を行う。 | | ○ | |

| 学習の留意点・評価など | 教科学習で習得した知識を活かして、研究に取り組むように導く。テーマの設定に際しては、希望する学部や学科との関連性を考慮して決めるよう示唆する。評価は観点別で行い、評価の素材には、提出されたワークシートを用いる。<br>10月以降は<br>　内部推薦で進学する生徒は、大学での授業に参加する。<br>　受験をする生徒は、受験対策用の希望講座別授業を受ける。 |
|---|---|